

叙位・叙勲 ～長年の功績に光～

正六位・旭日双光章

三陸縦貫自動車道の早期整備に尽力



故・佐々木 良一さん
(荒川・82歳)

地方自治功労 (元町議会議員)

1月13日に逝去された元町議会議員の佐々木良一さんに、死亡叙勲として正六位・旭日双光章が贈られました。佐々木さんは昭和54年4月、町議会議員選挙で初当選。以来、平成25年12月までの9期34年にわたり、地方自治の発展に尽力されました。この間、建設常任委員会委員長、さらに平成11年9月から平成19年4月まで町議会議員の要職を歴任。町の総合的な発展のためには三陸縦貫自動車道や宮古横断道路の整備が不可欠と訴え、三陸縦貫自動車道「山田道路」の早期整備に多大な貢献をされました。ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈りします。

旭日双光章

教育環境の整備に多大な功績



佐々木 智さん
(豊間根・86歳)

地方自治功労 (元町議会議員)

佐々木さんは、昭和46年に住民の代表として町議会議員に初当選。以来、平成15年4月までの通算7期28年にわたり地方自治の発展に尽力されました。在職中は、教育民生常任委員会委員長、総務常任委員会委員長の要職に就き、町内小・中学校の改築整備や危険校舎の解消、スポーツの振興などに多大な功績を残されました。また、宮古地区広域行政組合副議長として、消防施設の整備や廃棄物の処理など、生活環境の整備にも貢献されました。佐々木さんは「大変名誉なことで、光栄です。今後も“町民のために”という意識を強く持ち続けたいと思います」と受賞の喜びを話していました。

3月中旬から下旬にかけて行われた東北・全国大会において、山田中2年(当時)の3選手が県代表として大活躍しました。

◎野球
山屋和真くんは、野球県代表に選抜され、楽天イーグルス杯第12回東北中学校選抜軟式野球大会においてチームを準優勝に導きました。「最初は中々チームに溶け込めなかったが、決勝までいけたのでうれしかった」と笑顔を見せる山屋くん。山田中では「県選抜チームで学んだ『雰囲気づくり』を野球部にも取り入れ、全国を目指したい」と力強く話してくれました。



向かって左から古久保優希菜さん、山屋和真くん、大釋瑞優さん

◎バスケットボール
第27回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に出場した古久保優希菜さんは、県代表チームで大きな活躍をしました。長身揃うチームの中でも身長は高い方、という古久保さんは「長身を生かした粘り強いプレーで、東京都代表に勝つことができました」と大会を振り返ります。一方で「山田中では女子キャプテンなので、学んだことを生かしチームに変化を与えるプレーをしていきたい」と、今後の抱負を語りました。

山田中3選手が県選抜で活躍

◎バレーボール
大釋瑞優さんは、第3回ホープビレカップ中学生バレーボール大会の県代表に選抜されました。「準優勝できてすごくうれしい。県内から選手が集まるので、普段できない練習をすることができた」と成果を話す大釋さん。「数少ない練習の中でコミュニケーションの大切さを学んだ。山田中では地区2連覇に向けて頑張りたい」と新たな目標に目を輝かせていました。